（北アルプス地域）

令和７年度　地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	YAMANBA ガールズと行う郷土食継承・発信の担い手育成事業
事業主体 （連絡先）	特定非営利活動法人ぐるったネットワーク大町.
事業区分	③教育、文化の振興に関する事業
事業タイプ	ソフト
総事業費	2,364,471 円（うち支援金：　928,000 円）

事 業 内 容

2024 年に開催された北アルプス国際芸術祭で公式レストランのおもてなしを担当した YAMANBA ガールズの活動を継続し、地域の食材・食文化の継承・発信の担い手を育成するため、次の 5 つの事業を行った。

1．郷土料理研究家横山タカ子氏を講師に、季節ごと合計 4 回の料理講習会を開催。延べ参加者 75 人
2．市内レンタルスペースを活用してランチを 6 回 189 食提供。（経費は助成対象外）
3．秋のレシピ集を発行。印刷部数 500 部。
4．銀座 NAGANO での発表会 2 回
5．新潟の大地の芸術祭への視察研修。地元お母さんによるおもてなしを体験し、交流も行った。



【銀座 NAGANO での発表会の様子】

【目標・ねらい】

①大町の食材・食文化の発信
②食体験プログラムの磨き上げ
③郷土料理継承・発信の担い手育成

ガストロノミーツアーへのコンテンツ提供により自立継続を目指す。

事 業 効 果

※地域活性化のための目標・ねらいに対してどのような効果があったか、項目毎に記載すること。

目標①　1 日レストランでのランチ提供 189 食
　　銀座 NAGANO での提供食数 88 食

目標②　提供可能な季節のお膳 2 種→6 種
　　ツアー協力可能な生産者等 0 者→2 者
　　食体験プログラムの提供実績 5 件
　　利用可能な拠点施設 0→1

目標③　YAMANBA ガールズメンバーは 30 人→39 人
　　1 年間の活動を通じてよいチームができてきた。

※自己評価【　A　】

【理由】
5 つの活動を通して、目標の①②③いずれも成果をあげることができた。特に担い手となる YAMANBA ガールズメンバーの増員と、チームワークの深まりがよかった。

今後の取り組み

※今後、事業効果をどうつなげていくか記載すること。（今後の事業展開、取組の継続に向けた財源確保など）。

担い手育成と学び合いの良い循環を継続するため、年 4 回の横山タカ子氏の料理講習会、1 日レストランでのランチ提供、銀座 NAGANO での発表会、視察研修を次年度も継続するほか、地元の子ども達への食育も実施したい。

飲食店との差別化を図り、地元のお母さん達のチームの良さを活かすには、ただの食事提供ではなく、体験に物語性を持たせ付加価値をつけていくことが必要となる。このため SNS を中心に広報宣伝に力を入れ、提供できる食体験をまとめたパンフレット作成を検討している。また 1 年間の活動で見えてきた不足備品を購入し、ツアー受入れに備えたい。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。
「A」：予定を上回る効果が得られた　「B」：予定していた効果が得られた
「C」：一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある